



のんびり、  
さるこう、  
水と神の里。

火の国阿蘇の  
恵みのブランド

夕  
zen  
A s o C i t y

定年退職して数年後、幼なじみが話をした。

「なんかこう、地域のためになることで働きたいものだなあ」

ふるさとへの恩返し、という気分も大いにあった。

そうだ、水だ、あの名水を蘇らせようじゃないか。意見が一致した。

わくど石という石の下から湧く名水が、

平成二年の洪水により埋もれたままだ。

飲んでよし、塗ればカブレによく効く、あの水。

幼なじみは掘り返し、みごと手野の名水の復活となった。

三人が五人に、五人が十人にと増えて、

水車を作ったり、花を植えたり……。

やがて、観光客のためにこの地のガイドも請け負うようになった。

外輪山の裾野に位置する手野集落は、国造神社や古墳、

そして数かずの水景色、と案内するところが多い。

のんびり、さるいて(ぶらぶら歩いて)もらえば、

この里のよさがわかります。

手野名水会 工藤徹雄

あるがまま、という貴さ。

人と自然が共作する阿蘇。